

**山口放送制作「メロディーの向こうに～童謡・唱歌の世界～」
日本民間放送連盟賞中国四国地区審査会最優秀賞**

授業をする山田真治さん



まど・みちおさん

山口放送が制作したラジオ教養番組が、今年の日本民間放送連盟賞 中国四国地区審査会で最優秀賞を受賞しました。また、ラジオ報道番組とラジオ生ワイド番組の2つの部門で優秀賞を受賞しました。最優秀賞を受賞した「メロディーの向こうに」は、中国四国地区代表として全国審査会に進みます。

■ 番組部門 ラジオ教養番組 最優秀賞**「メロディーの向こうに ～童謡・唱歌の世界～」**

山口放送 平成 29 年 3 月 26 日(日) 18:00～19:00 放送

こどもたちに育てあげたい空想の世界が描かれた童謡「赤い鳥小鳥」。作者が我が子への愛おしさを詩に託した「七つの子」。「ぞうさん」は、違いを認め合い自分に生まれた喜びを持ってほしいというメッセージを込めて作られました。「蝶々」「シャボン玉」「カナリヤ」…。童謡や唱歌には、親子の愛情や命の大切さ、日本語の美しさ、思いやり、平和への願い…様々な思いが込められています。そんな作者の思いをこどもたちに伝えたいと、大学教授の山田真治さんは童謡・唱歌を広める活動をしています。「ぞうさん」を作詩した故・まど・みちおは、母校の小学生を前に思いを届けました。童謡詩人・野口雨情の孫、不二子さんは、各地の講演会で祖父の想いを伝えます。次の時代にも歌い継ぎたい童謡・唱歌。一方で、歌がこどもたちに戦争をすり込むために使われた時代もありました。来年は、童謡が誕生して 100 年。メロディーの向こうにある世界を探ります。

講評

- ・ 童謡が誕生して100年という節目を意識した意欲的なテーマで、生前のまど・みちおさんの声など貴重な音を効果的に使って作者の思いをよく伝えている。丁寧な作りで構成や音のバランスなど完成度が高い作品。

裏面へ続く >>>>

■ 番組部門 ラジオ報道番組 優秀賞

「陸奥と沈んだ翼」

山口放送 平成 29 年 5 月 28 日(日) 20:00~20:35 放送

山口県出身で現在、大阪に暮らす和田鶴夫さん91歳は、元海軍の航空兵でした。16歳の時、自ら志願して茨城・土浦にあった海軍航空隊の飛行予科練習生となりました。厳しい訓練に耐える日々の予科練の若者たちが楽しみにしていたのが「艦隊艦務実習」でした。帝国海軍を支えてきた戦艦に乗り込んで行われる体験実習は訓練漬けの日常から離れられる唯一の機会です。和田さんたち予科練11期13分隊の135人は昭和18年の6月8日の朝、岩国沖に停泊中の陸奥に乗り込みました。乗艦からわずか2時間後にその巨大戦艦が爆発・沈没することなど誰一人夢見たにしています。135人中生きて土浦に帰ったのは、和田さんを含め、わずか11人でした。軍は陸奥爆沈の事実を長らく最高機密にしている、和田さんも終戦までは事故のことを胸に秘めていました。その和田さんが20年ほど前にまとめた手記に沿って、予科練での訓練の様子から事故当日、そしてその後を和田さんの証言で綴りました。

講評

- ・ スポットが当たらない人にスポットを当て、当人の生の声で構成した聴きごたえのある作品。知られていない事実を、証言を基に表に出した功績は大きい。

■ 番組部門 ラジオ生ワイド番組 優秀賞

「お昼は ZENKAI ラチオな時間

～GWだけどこんなときだからこそ憲法について考えてみようSP～」

山口放送 平成 29 年 5 月 3 日(水) 12:00~16:00 放送

当社で正午から16時まで放送している昼の生ワイド「お昼はZENKAIラチオな時間」を憲法記念日のスペシャルバージョンとして放送。ゲストコメンテーターに憲法学が専門で山口大学で教鞭を執る松原幸恵准教授を迎えました。リスナー参加型のクイズやキーワードをパーソナリティが選びその場で解説してもらうコーナー、実際に5月3日について一般の人たちがどれくらい知っているのかも調査・取材しました。そして憲法がいかに考えられて作られているかを紹介するため成田アナウンサーが架空の国「成田王国」の国王になるという設定で実際に憲法を作成し評価してもらうというコーナーも行いました。とにかく「笑える」「たのしく聴ける」ことをテーマに様々な企画を織り交ぜ、憲法について考えてもらえる番組を目指しました。

講評

- ・ 純粋に非常に引きこまれた。構成の面白さ、審査員の評価も高かった。
- ・ 「成田王国の憲法の制定」は奇抜なアイデアで、引き込まれた。構成の面白さにより憲法を身近で分かりやすいものにした。

■ 日本民間放送連盟賞とは

日本民間放送連盟賞(連盟賞、英文名:JBA Awards)は、番組、CM、放送技術の向上と、放送活動のより一層の発展を図ることを目的に、日本民間放送連盟(民放連)が1953(昭和28)年に創設した賞です。民放連の会員である全国の民放各社から参加のあった番組・事績を対象に毎年1回実施し、優れた番組、優秀と認められた事績を顕彰しています。表彰は、毎年秋に開催する「民間放送全国大会(民放大会)」の式典席上で行われます。